



ウクライナ難民・避難者支援について

ロシアによるウクライナへの侵攻が 2022 年 2 月 24 に発生して以来、約 600 万人のウクライナ国民が難民ないし一時避難者として世界各地での避難生活を余儀なくされています。救世軍では紛争が発生した翌日からウクライナ難民・避難者への支援活動を開始し、ウクライナ国内、国境を隣接するモルドバ、ルーマニア、ポーランド、周辺国のブルガリア、リトアニア、ハンガリー、ジョージア、ノルウェー、チェコ、ドイツ、ギリシャ、スイス、オランダで食料・衣料・衛生用品・寝具・宿泊等の支援を行っています。

日本の救世軍では救世軍ホームページやゴスペルハウスでウクライナ支援募金を呼びかけており、8月3日までに 5,706,822 円の支援金が寄せられました。この支援金を用いて下記の支援を行うことができましたので、ご報告いたします。

リトアニアでのウクライナ難民支援 200 万円

ジョージアでのウクライナ難民支援 300 万円

支援総額 500 万円

※残額 706,822 円はリザーブされて今後のウクライナ支援に用いられます。



リトアニアの首都ビュリニスと港湾都市クライペダでのウクライナ難民支援

ウクライナの近隣国であるリトアニアの首都ビュリニスと港町クライペダで、救世軍はウクライナ難民に食品引換券、台所用品、学用品、衛生用品、おもちゃ、寝具、交通を提供する支援を行いました。このために日本からのウクライナ支援金 200 万円が用いられました。

ジョージアでのウクライナ難民の子どもたちのためのサマーキャンプ

黒海に面した国ジョージアでは約 6 万人のウクライナ難民が避難生活を送っています。ジョージアの救世軍は、ウクライナ難民の子どもたち 100 人のために黒海沿岸の海水浴地ウレキでサマーキャンプを 20 日間にわたっておこないました。このために日本からのウクライナ支援金 300 万円が用いられました。このキャンプにはスイスとノルウェーの救世軍も資金を支援しました。



日本国内のウクライナ避難者への「お買い物券」支援

日本国内へのウクライナ避難者受け入れ支援を行っている YMCA にご協力いただいて、東京・杉並の救世軍バザー場でウクライナ避難者に「お買い物券」(バザークーポン)の支援を8月から開始しました。このために救世軍活動資金から100万円が用いられました。



救世軍は世界 133 の国と地域で伝道・医療・福祉・教育・地域開発・災害支援・人身取引被害者支援を働いている国際的キリスト教会・国連 NGO です。東ヨーロッパには救世軍東ヨーロッパ軍国を設置し、ジョージア、モルドバ、ルーマニア、ウクライナ、ブルガリアで活動しています。救世軍では引き続きみなさまからのウクライナ支援募金を受け付けています。次の URL から募金にご協力いただけます。www.salvationarmy.or.jp/etc/8956